

基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 令和 6 年 9 月 3 日

設置・運営主体	合同会社 ラボリ		
設置主体	合同会社 ラボリ		
経営主体	合同会社 ラボリ		
事業所名 (施設名)	多機能型拠点ラボリベース	種別	生活介護 放課後等デイサービス 児童発達支援センター
所在地	〒 350-0215 坂戸市関間4-4-7		
電話	049-272-7892		
FAX	049-272-7893		
Email	y.ohata@labori-saitama.com		
URL	https://labori-saitama.com		
施設長氏名	太田 よし美		
調査対応担当者	常盤 英由樹 尾澤 正寛 阿部 博士	所属、生活介護 (ラボリダッシュ ラボリキッズ)	サービス管理責任者 児童発達支援管理責任者 児童発達支援管理責任者)
利用定員	生活介護(10名) 放課後等デイサービス(10名) 児童発達支援センター(20名)	開設年	平成 31 年 4 月 1 日
理念・基本方針			
◆経営理念 「働くことを通して自ら輝き、人を輝かせ、社会を輝かせる」			
1、最大限のサービスを提供する 2、常に前向きな思考 3、批判より先に傾聴と理解をし提案をする 4、粘り強く取り組む 5、自分の頭で考える 6、チームとして最大限の成果をあげる 7、誠心誠意			
開所時間 (通所施設のみ)	9:30~16:30(生活介護) 平日~午前10時~午後18時 休校日~午前10時~午後16時(ダッシュ) 営業時間/9:00~19:00(月~金) 9:00~18:00(土、祝) サービス提供時間/10:00~17:00(月~金) ~16:00(祝) ~14:00(土)(キッズ)		

【利用者の状況に関する事項】

○成人施設の場合（老人福祉サービスを除く）

18歳未満	18～20歳未満	20～25歳未満	25～30歳未満	30～35歳未満	35～40歳未満
名	名	6名	2名	2名	1名
40～45歳未満	45～50歳未満	50～55歳未満	55～60歳未満	60～65歳未満	65歳以上
名	名	名	1名	名	1名
					合計
					13名

○保育所の場合（通常保育）

	定員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児		0			
1歳児		1			
2歳児		5			
3歳児		19			
4歳児		29			
5歳児		25			
計	20	79	1	25	11.6

(注) 1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

○放課後児童クラブの場合

	利用児童数	クラス数	定員	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均支援員数
小学1年生	9	1	10	10	4
小学2年生	11				
小学3年生	10				
小学4年生	6				
小学5年生	2				
小学6年生	6				
中学生以上	4				
計	48	1	10	—	—

(注) 1クラスあたり平均支援員数は放課後児童支援員のほか補助員を含む。

○障害等の状況（保育所を除く）

・身体障害（障害者手帳を所持している利用者についてご記入ください。）

障害区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級
視覚障害	名	名	名	名	名	名	名
聴覚又は平衡機能の障害	名	名	名	名	名	名	名
音声・言語、そしゃく機能の障害	名	名	名	名	名	名	名
肢体不自由	2名	1名	名	名	名	名	名
内部障害（心臓・腎臓、ぼうこう他）	1名	名	名	名	名	名	名
重複障害（別掲）	名	名	名	名	名	名	名
合計	3名	1名	名	名	名	名	名

※区分が異なる複数障害で等級の認定がなされている場合は「重複障害」に記入ください。

・知的障害（療育手帳を所持している利用者についてご記入ください。）

A ※	B	C
14名	6名	8名

※「A」には丸付きのAを含む。

・精神障害（精神障害者保健福祉手帳を所持している利用者についてご記入ください。）

精神疾患の区分	1級	2級	3級
統合失調症	名	1名	名
そううつ病	名	名	名
非定型精神病	名	名	名
てんかん	名	1名	名
中毒精神病	名	名	名
器質精神病	名	名	名
その他の精神疾患	名	1名	名
合計	名	3名	名

○サービス利用期間の状況（保育所を除く）

～6か月未満	6か月～1年	1年～2年	2年～3年	3年～4年	4年～5年
9名	名	14名	14名	10名	2名
5年～6年	6年～7年	7年～8年	8年～9年	9年～10年	10年～11年
6名	4名	名	名	名	名
11年～12年	12年～13年	13年～14年	14年～15年	15年～16年	16年～17年
名	名	名	名	名	名
17年～18年	18年～19年	19年～20年	20年以上		
名	名	名	名		

（平均利用期間： 3.8）

【職員の状況に関する事項】

○成人施設の場合

	総数	施設長	事務員	主任指導員	指導員
常勤	6名	1名	名	名	名
非常勤	1名	名	名	名	名
	主任介護職員	介護職員	保育士	看護師	OT、PT
常勤	名	4名	名	1名	名
非常勤	名	名	名	名	名
	栄養士	介助員	調理員等	医師	その他
常勤	名	名	名	名	名
非常勤	名	名	名	1名	名

社会福祉士	名（名）
介護福祉士	名（名）
保育士	名（名）
	名（名）
	名（名）

（非常勤職員の有資格者数は（ ）に記入）

○保育所の場合

常勤職員数		10 人	
うち	保育士/児童指導員	3 / 4 人	保健師・看護師 0 人
	栄養士・調理員	1 人	その他（児発管/作業療法士） 1 / 1 人
非常勤職員数		人（常勤換算 人）	
うち	保育士/児童指導員	2 / 4 人	（常勤換算 0.7 / 2 人）
	保健師・看護師	2 人	（常勤換算 0.8 人）
	栄養士・調理員	2 人	（常勤換算 0.9 人）
	その他（保育補助）	1 人	（常勤換算 0.1 人）
<p>（注）常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。</p>			
（2）前年度採用・退職の状況	採用	常勤： 2 人	非常勤： 6 人
	退職	常勤： 0 人	非常勤： 4 人
（3）常勤職員（うち保育士・児童指導員・保健師・看護師）の平均年齢		49.8 歳（ 46.5 歳）	
（4）常勤職員（うち保育士・児童指導員・保健師・看護師）の平均在職年数		2.56 年（ 2.47 年）	
<p>（注）現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体（法人・自治体）内の児童福祉施設間の異動は通算可（公営の場合には保育主管課在職期間も通算可）。小数点以下第二位を四捨五入。</p>			

○放課後児童クラブの場合

支援員数		6 人
うち	放課後児童支援員	2 人
	補助員	2 人

【本来事業に併設して行っている事業】

（保育所を除く）

児童発達支援センター ラボリキッズ
 放課後等デイサービス ラボリダッシュ
 相談支援事業 ラボリコンセント

【ボランティア等の受け入れに関する事項】

・令和 5 年度におけるボランティアの受け入れ数（延べ人数）

3 人

・ボランティアの業務

利用者の日中活動の補助、作業や創作活動 等

【実習生の受け入れ】

・令和 5 年度における実習生の受け入れ数（実数）

精神保健福祉士 2 人

介護福祉士 人

その他 5 人

【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○成人施設の場合

(1) 建物面積	55,91	m ²
	入所(通所)者1人あたり 5,59	m ² (延べ床面積÷定員)
(2) 居室数 (入所施設の場合)	個室	室
	2人部屋	室
	3人部屋	室
	4人部屋	室
	5人以上の部屋	室
(3) 耐火・耐震構造	耐火 <input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ	
	耐震 <input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ	
(4) 建築(含大改築)年	平成	31年
(5) 主な設備	ガス設備 消化設備 空調設備 共用スロープ サイクルポート ゴミストッカー 駐車場(11台分) 自動火災報知設備 避難器具 誘導灯及び誘導標識	

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)	90.88 m ²	
	児童1人あたり	4.5 m ² (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積	75.91 m ²	
	児童1人あたり	3.79 m ² (計算式: 園庭面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築(含大改築)年	平成	31年

○放課後児童クラブの場合

(1) 建物面積 (放課後児童クラブ 使用面積)	26.22 m ²	
	児童1人あたり	2.62 m ² (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 耐火・耐震構造	耐火	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
(3) 建築(含大改築)年	平成	31年

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設(事業所)において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

日々在宅からの利用者については、連絡ノートでその日の様子をやり取りし、家庭からも連絡事項等あれば記入して対応しています。

GH併用の方につきましては、申し送り表に記入し、情報共有をしつつ、利用者にとって不利益にならないよう職員間で相談、意思決定し、対応するよう心掛けています。<生活介護>

保護者の方々と情報システムを共有することによって、日々の活動報告を逐一行い、その内容を受け、日々の支援内容に役立てています。また、ご家族とのホットライン(施設と利用者家族のみ閲覧できるメールシステム)を使用し、日々の悩み相談にも対応しています。

また、こうしたデジタルのやり取りの他、計画作成時やモニタリング時の面談やご家庭への送迎時など、ご家族との直接的なやりとりも大切にしています。

日々の活動においては、リトミック時の音楽の選択は概ね利用者様にお任せしています。意見の対立もありますが、それも訓練の一環とし、自分たちで妥協点を見つけることが出来るよう促しています。<ダッシュ>

○毎年「保護者向け児童発達支援評価表(23項目)」のご協力をお願いして集計したものを、「事業所職員向け児童発達支援自己評価表(47項目)」と合わせてホームページに公表している。また、評価内容を職員と共有して支援に反映させている。○毎年3月に保護者会を開催して1年間の事業報告と保護者様からのご意見をお伺いする機会を設け、頂いたご意見は職員に共有し支援に反映させている。○ICTを活用し、ネットワーク上のプラットフォーム「HUGシステム」によりPC・スマートホンから時間を問わず双方向で保護者様と情報共有できるようにしている。○送迎時に対応するスタッフとお子様の様子等について直接お話しできる機会を設けている。また、紙媒体で「連絡帳」を活用し、保護者様と情報共有も行っている。○最低6ヶ月に1回はモニタリングを行い、お子様の支援についてお話しする時間を設け、個別支援計画に反映させている。<キッズ>

【その他特記事項】

貴施設（事業所）の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

- ・メンタルヘルス相談窓口がある。（メンター制度）
- ・新人職員研修や、OJT、OFF-JTの積極的な取り組み。
- ・栄養士、調理師による温かい昼食の提供。バラエティに富んだメニュー。
- ・生活介護でも工賃支給（月1000円～3000円）
- ・季節感溢れる行事やイベントの実施。（例 魚釣り ボウリング外出 買い物外出 食事会 等）

＜生活介護＞

様々な年齢の方が利用されていますが、取り組みにおいては年齢を意識させる内容にあえてせず低学年、高学年と一緒に活動行うことによって上下関係を作ることなく楽しい時間を過ごしていただけるよう配慮しております。ただ、学習支援等活動内容によってはより集中しやすい環境を整えるため、別室の用意を行うなど支援目標に合わせて柔軟に対応しております。＜ダッシュ＞

○小集団での活動プログラム①運動、②感覚統合、③感触、④製作、⑤音楽、⑥リトミックを実施し、月ごとに曜日を変え様々な活動に参加していただけるように配慮している。○サービス提供時間が10時から17時まで最長7時間で他事業所と比べ長時間の療育を受けることができる。○希望により、利用児童の自宅又は児童が集団生活を営む施設と事業所との間の送迎を行っている。○看護師を配置し医療的ケアを必要とする児童の受け入れを可能としている。○公認心理師を配し①新版K式発達検査、②WISC検査、③遠城寺式乳幼児分析的発達検査、④KISD乳幼児発達スケール等の各種検査をご利用者は無料で受診できる。また、公認心理師により様々なテーマで学習会を定期的に開催。○専門職（公認心理師、作業療法士、社会福祉士、保育士、看護師、嘱託医、栄養士）による相談を受け付けている。○毎月第二火曜日に嘱託医による健康診断、毎月第三金曜日は訪問歯科にて歯科検診を行い児童の健康に配慮している。○家族支援として保護者様が集まり、自由に話し合う場として「つぶやきカフェ」を毎月開催している。また、ご家族様が活動にお子様と一緒に参加して頂く「親子教室」を隔月に開催、保護者会を毎年3月に開催している。○地域支援として市から委託を受け保育所を巡回して、障害の疑いがあるお子様の対応について保育士に対し指導・助言を行っている。○ICTの活用として「HUGシステム」を使い、児童の入退出、毎月の利用申し込み、利用状況、個別支援計画、各種会議議事録、送迎等の管理に加え、児童のサービス提供記録を写真付きで当日中に保護者様にお伝えしてる。ツリー上の（LINEみたいな）双方向連絡ツールで保護者様は24時間事業所に連絡できるようになっている。また、職員の勤務表も作成し業務効率を向上させ、働きやすい職場作りに努めている。さらに「リタリコ」の施設運営の情報 解説動画、指導員研修動画を活用し、職員の能力向上に努めている。＜キッズ＞

【第三者評価の受審状況】

- ・受審回数（前回の受審時期）

0 回 （平成 年度）